

年間学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事などを的確に話すことや相手の意図をつかみながら聞くことができるようにするとともに、計画的に話し合おうとする態度を育てる。</li> <li>目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに効果的に表現しようとする態度を育てる。</li> <li>目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。</li> </ul>			
学期	学習内容・到達目標	は書写	学期	学習内容・到達目標
前期	<p><b>表現を味わいながら声に出して読もう</b>  <b>風切るつばさ 野のまつ 五月 雪</b>                  ・表現の良さを味わったり情景や心情を想像したりしながら、音読の工夫をする。                  漢字辞典を利用しよう 言葉の広場                  はじめに 毛筆の姿勢</p> <p><b>自分の意見を伝えるスピーチをしよう</b>  <b>伝え合おう、わたしの意見</b>                  ・事実と感想や意見を区別したり、資料の提示の仕方を工夫したりして分かりやすく話す。                  依頼の手紙を書こう ことわざや昔の言い方に関心を持とう 言葉の広場                  組み立て方 湖</p> <p><b>文章の構成を考えながら読もう</b>  <b>イースター島にはなぜ森林がないのか</b>                  ・文章構成をとらえ、表現の工夫を考えながら内容を正確に読みとることができる。                  気持ちのよい話し方をしよう 日本の文字に関心を持とう 言葉の広場                  筆順と字形 成長</p> <p><b>強く語りかけてきたことを考えながら読もう</b>  <b>ヒロシマのうた</b>                  ・時間の流れに注意して物語の流れをとらえ、最も強く語りかけてきたことを自分の言葉でまとめる。                  しょうかい文を書こう                  文字と絵で伝えよう</p> <p><b>役割に応じた話し方をくふうして</b>  <b>ニュース番組を作ろう</b>                  ・ニュース番組の構成を考え、役割に応じた話し方を工夫して話したり、話し手の意図を正確にとらえたりする。                  筆使いと字配り ふれあい</p>		後期	<p><b>作家と作品をかかわらせて読もう</b>  <b>宮沢賢治</b>                  ・宮沢賢治の生涯について読み取るとともに、作家と作品のかかわりについて自分の考えをまとめて紹介し合う。                  感動をリズムにのせて                  文字の大きさ 白い雲</p> <p><b>いろいろな言葉について調べよう</b>  <b>言葉の意味を追って</b>                  ・文章の構成に注意して書かれていることを読み取り、言葉への関心を深める。                  言葉の由来に関心を持とう 言葉の広場                  字配り 世界平和</p> <p><b>構成をくふうして書こう</b>  <b>「わたしの意見」を書こう</b>                  ・日ごろの生活の言葉を見直して問題点を見つけ、書く事柄を整理し効果的な組み立てで文章を書く。                  文末の言い方に目を向けよう 言葉の広場                  書き初めをしよう 希望、伝統を守る</p> <p><b>わたしたちの「未来」について討論しよう</b>  <b>百年前の未来予測</b>                  ・文章の内容から筆者の考えを読み取り、「未来」についての自分の考えを明確にする。                  文の組み立てに目を向けよう 言葉の広場                  まとめ 未来の夢</p> <p><b>人物の生き方を考えよう</b>  <b>海のいのち</b>                  ・人物の生き方を考えながら物語を読み、最も強く語りかけてきたことを紹介し合う。                  熟語の構成について考えよう 言葉の広場                  ことばの由来に関心を持とう                  未来に向かって</p> <p><b>さまざまな表現方法を生かして</b>  <b>「未来へのメッセージ」を書こう</b>                  ・今までに学習した表現方法を生かして思い出や将来への願いをまとめることで、主体的に学習する力を身につける。                  ・今までに学習した表現方法を生かし、文集や新聞作りに取り組む。</p>

国語科の評価

・国語科では五つの観点で評価します。				
国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
国語に対する関心をもち、計画的に話し合ったり、適切に書いたり、幅広く読書したりしようとする。	目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどを的確に話したり相手の意図を考えながら聞いたりする。	目的や意図に応じ、考えたことなどを筋道を立てて文章を書く。	目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読む。	音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。 文字の大きさ、形、点画の筆使い、字配りなどを理解し正しく書く。
・次のような方法で見えていきます。				
音読の観察 テスト ワークシートの内容 発言メモ 発表の内容 ノートの記録 感想文 構想メモ ニュースの発表内容 スピーチ 朗読の観察 情報収集の様子の観察 作品の内容 パネルディスカッション				

おうちの方へ

- ・学習内容の定着を図るために、漢字ドリルや学習プリントなどを活用します。家庭学習にも取り入れます。
- ・読書は、国語科の基礎的な事項の定着、情緒的な面の育成、情報収集のための活用等からも重要であり習慣化することが大切です。
- ・敬語の使い方など学校でも指導しますが、ご家庭でもお願いします。